

ウニ

和名 ウニ(海胆、海栗) **英名** Sea urchin **亜綱**

ウニ(海胆、海栗、英: Sea urchin)は、ウニ綱に属する棘皮動物の総称。別名にガゼなど。なお、「雲丹」の字を充てるときはウニを加工した食品を指す。日本の俳句では春の季語。



分類

界 動物界 Animalia

門 棘皮動物門 Echinodermata

亜門 有棘動物亜門 Echinozoa

綱 ウニ綱 Echinoidea

深海の海底から磯に至る世界中の海に生息し、約 870 種が確認されている。多くの種が全身にトゲを持つ。中にはガンガゼのように毒を持つものもある。ウニの体の構造は5つの部分から成り、背面から見た殻の輪郭が円形で、中心から5つの部分が放射相称に配置されたものを正形ウニ類と呼ぶ。タコノマクラなど、放射状ではなく左右相称になっているものを不正形ウニ類と呼ぶ。

分類

現生群は真ウニ亜綱 Euechinoidea、オウサマウニ目のみからなるオウサマウニ亜綱 Cidaroida の2 亜綱に分けられる。かつてはオウサマウニ目を化石種のみで知られているニセウニ科 Bothriocidaridae を含む溝帯目 Bothriocidaroida などとともに擬ウニ亜綱 Perischoechnoidea に分類することもあったが、のちにニセウニ類は古生代に現生群の共通祖先より以前に派生したステムグループとして区別された。

<追加記述>